



第1部門

『北欧視察研修報告』

～北欧の子育て支援 デンマーク・スウェーデンを訪ねて～

(平成 17 年 11 月発行)

A 4 71 ページ

本報告書は、2004 年 8 月に視察した北欧（デンマーク・スウェーデン）の子育て支援の現地視察の内容を含むものである。子育て先進地の子育て支援、幼小連携、就学前教育など。

目次

1. コペンハーゲン・スウェーデンの文化と生活

加藤敏子（聖徳大学人文学部児童学科教授）

- I. デンマークのコペンハーゲン
- II. スウェーデンのストックホルム

2. 子育て支援の施策と課題

村田光子（聖徳大学人文学部児童学科助教授）

- I. 少子化の現状認識
- II. 少子化をもたらした社会的背景
- III. 北欧における家庭政策
- IV. 日本とデンマークとの比較（少子化問題の背景及び対策のポイント）
- V. まとめと考察
- VI. 終わりに

3. デンマークおよびスウェーデンにおける子育て支援に学ぶ

近内愛子（聖徳大学短期大学部保育科助教授）

- I. 研究の目的
- II. 研究の方法
- III. 先進国の現地調査
- IV. まとめと今後の課題

4. 幼小連携の状況と工夫—スウェーデンの場合—

大澤裕（聖徳大学短期大学部保育科助教授）

- I. 学校教育の実際
- II. スウェーデンの保育システム
- III. “Lpfö 98” の特徴
- IV. フォアシュコーラが重視する価値
- V. フォアシュコーラの活動
- VI. フォアシュコーラの目標と指針
- VII. 家庭や学校との連携の問題

5. 少子化問題と就学前教育の保障

森川文子（聖徳大学短期大学部保育科助教授）

- I. 研究目的と方法
- II. スウェーデンと日本における就学前教育制度の変遷の比較
- III. 両国における到達点は何故異なったのか
- IV. 日本における現状
- V. スウェーデンにおける現状
- VI. 今後の課題と展望

6. 資料